

平成29年度自然災害科学中部地区研究集会プログラム
会場: 静岡県地震防災センター

【第1セッション】司会:原田賢治(静岡大学)

時刻	演題	著者	ページ
10:00 ~ 10:15	静岡県河津町の海岸低地における津波堆積物調査	○北村晃寿・三井雄太・石橋秀己(静岡大学理学部・防災総合センター), 森 英樹(静岡大学)	2
10:15 ~ 10:30	1498年明応東海地震の破壊領域と津波波源域に関する新知見	○北村晃寿(静岡大学理学部・防災総合センター)	4
10:30 ~ 10:45	日本における豪雨発生頻度の地域差と長期変化	○西浦直子・岩崎一孝(静岡大学情報学部)	6
10:45 ~ 11:00	九州北部豪雨時の九州地域住民の避難の意思決定行動	○関谷直也(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター・静岡大学防災総合センター)	8
11:00 ~ 11:15	<休憩>		
11:15 ~ 11:30	デジタルサイネージにおける降雨情報伝達のためのアイトラッキングを用いた効果的なデザインの検討	○安本真也・関谷直也(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)	10
11:30 ~ 11:45	ローカル放送局の防災番組におけるタイトルの傾向に関する調査	○増田謙(静岡第一テレビ), 牛山素行(静岡大学防災総合センター)	12
11:45 ~ 12:00	地名を利用した自然災害リスク分析の検討	○泉友太(静岡大学大学院情報学専攻), 岩崎一孝(静岡大学大学院情報学専攻)	14
12:00 ~ 12:15	山梨県と甲府市の浸水想定区域内人口の推移	○秦康範(山梨大学・静岡大学防災総合センター), 前田真孝(山梨大学工学部)	16

12:15 ~ 13:30 <昼休み>

【第2セッション】司会:北村晃寿(静岡大学)

13:30 ~ 13:45	静岡県東部地域5市の津波避難計画の特徴とその背景	○中谷泰三(静岡県東部危機管理局), 牛山素行(静岡大学防災総合センター)	20
13:45 ~ 14:00	防災対策の経済的評価手法に関する基礎検討～自治体における住民分災害備蓄の経済的評価の試算と分析～	○水谷泰啓(静岡県)	22
14:00 ~ 14:15	防災拠点としての道の駅 - 静岡県を例として -	○岡田実樹・岩崎一孝(静岡大学情報学部)	24
14:15 ~ 14:30	東日本大震災における被災地の福祉避難所についての研究	○小枝信幸(ふじのくに防災フェロー養成講座受講生), 前田 恭伸(静岡大学防災総合センター)	26
14:30 ~ 14:45	児童向け広報ツールによる防災広報の効果に関する検討	○白井 愛(ふじのくに防災フェロー養成講座)・中村譲治(静岡大学教育研究支援員)・原田賢治(静岡大学防災総合センター准教授)	28

- ・1題あたりの発表時間は、15分(本人発表時間が10分、質疑討論時間が5分)です。
- ・発表会場には、パソコン、液晶プロジェクターを用意する予定です。各自パソコンを持ち込んでいただいても差し支えありませんが、発表前に接続できることを確認しておいてください。
- ・著者2名以上の場合、著者名の一部を省略しています。